



# スターリイマンの風船だより

平成二十四年七月号

時節柄、不安定な天候が続きますが、皆様お変わりございませんか？

さて、昨年七月七日に、沖縄から震災復興への願いを込めて、「スターリイマン紙芝居プロジェクト」をスタートしてから、ちょうど一年が経ちました。この月日の中で、沖縄の皆様をはじめ、日本各地の皆様方から温かい応援・ご支援をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本日に本当にどうもありがとうございます。

先日、五月二十六日から六月七日にかけて、福島・宮城・岩手の子ども達や地域の皆様に紙芝居をお贈りする活動を行ってまいりました。今回は紙芝居だけでなく、「被災地の未来を輝かす心の原風景」の作品も、地域の皆様にご覧いただき、それぞれの方が、色々な想いで作品に込めた想いを感じてくださいました。

少しずつ復興が進み始めている地域、全く見通しが立たない地域。複雑な現状をお聞きすると、胸が押しつぶされそうになりますが、いつかまた皆様が愛するふるさとで、心穏やかな日常を送れる日まで、少しでも皆様の心の支えになりたいと、改めて思っています。これからも一人でも多くの方々に、スターリイマンの夢を叶える9つの風船をお届け出来るよう、一步一步、私達も前進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、益々暑さが厳しくなる季節。くれぐれもご自愛くださいませ。

二〇二二年七月七日 七夕の星に感謝を込めて

スターリイマン紙芝居プロジェクト

代表 はせがわ祐希

## 一年間で紙芝居をお贈りした場所（各地域別／日付順）

- 【茨城県】鹿島神宮さん（鹿島市）金郷幼稚園さん（常陸太田市）
- 【福島県】いわき幼稚園さん（いわき市）うめご保育園さん（福島市）みどり書房桑野店さん（郡山市）うつみね児童館・幼稚園さん（須賀川市）南福島保育園さん（福島市）小名浜図書館さん（いわき市）勿来第三小学校さん（いわき市）矢吹町立中央幼稚園さん（矢吹町）（株）仲見世さん（福島市）シーアイエー（株）さん（福島市）匠カフエさん（福島市）とんかつDining & Chobara agatoroさん（福島市）（株）あきたや楽器店さん（福島市）スポーツメイトウイン福島さん（福島市）福島学院大学附属幼稚園さん（福島市）にわか保育園さん（福島市）白百合幼稚園さん（福島市）さゆりこども園さん（福島市）
- 【宮城県】石巻キリスト教会さん（石巻市）気仙沼大島 仮設住宅さん三ヶ所（気仙沼市）津谷保育所さん（気仙沼市）特別養護老人ホーム春圃苑さん（気仙沼市）介護老人保健施設はまなすの丘さん（気仙沼市）ホテル観洋 託児所マリソールさん（南三陸町）渡波小学校さん（石巻市）双葉保育園さん（気仙沼市）馬籠幼稚園さん（気仙沼市）津谷図書館さん（気仙沼市）気仙沼図書館さん（気仙沼市）大谷ティサービスさん（気仙沼市）津谷幼稚園さん（気仙沼市）津谷学童さん（気仙沼市）扇町一丁目仮設住宅さん（仙台市）小さき花幼稚園さん（仙台市）NPO法人 ネットワークオレンジさん（気仙沼市）復興屋村気仙沼横丁さん（気仙沼市）気仙沼カトリック幼稚園さん（気仙沼市）前沢保育園さん（気仙沼市）南三陸町 みんなの児童館さん（南三陸町）万石浦ささえあい拠点センターさん（石巻市）湊第二小学校さん（石巻市）NPO法人 オンザロードさん（石巻市）上山天満宮さん（南三陸町）
- 【岩手県】広田保育園さん（陸前高田市）松崎保育園さん（遠野市）カフエバーわいわいさん（陸前高田市）きらりんきっずさん（陸前高田市）きっぴんきっずさん（大船渡市）竹駒保育園さん（陸前高田市）横田保育園さん（陸前高田市）

合計寄贈冊数 百五十四冊（二〇二二年六月末現在）

★皆様の有り難いご支援に心から感謝いたします★

※場所によっては、掲載を控えている場所もあり、全てご紹介出来ておりません。予めご了承ください。紙芝居の販売冊数や活動の収支報告につきましては、別紙をご参照ください。

## 一周年御礼☆紙芝居プロジェクト報告&交流会 「スターリイマン」ミニミニカフェ 開催のお知らせ

おかげ様で、この一年間の活動を通して、本当にたくさんの子どもの笑顔に出会い、地域の方々との語り尽くせない数々の感動エピソードが生まれました。一年間の感謝の気持ちを込めまして、是非、直接、皆様と向き合いながら、一緒に震災復興について、未来について、色々な想いを分かち合えたら嬉しく思っております。七月下旬の暑い最中ですが、皆様のご参加を心よりお待ちしております☆

【開催日】七月二十九日（日） ※開場 十時半

【第一部】十一時～十二時半

スターリイマン紙芝居ライブ／被災地での活動レポート／「被災地の未来を輝かす心の原風景」作品の紹介／これからの活動について等

【第二部】十三時～十四時半

みんなでランチをしながら交流会♪  
※参加者様の人数や年齢層に合わせて、内容を検討いたします。途中参加、途中退席も可能です。

【会場】第一部さいたま市生涯学習センター 学習室1

第二部カフエドチュラ

【アクセス】JR大宮駅西口から徒歩五分

※ご参加の方には、後日地図をお送り致します。

【入場券】大人二千円／子供千円

※一部・二部通しで、選べるランチ付き♪  
大人の方の参加費の内、千円を活動費に充てさせていただきます。小学生以下のお子様のご参加は、お気軽にご相談ください☆

【定員】先着二十名様

【お申込み】七月二十三日（月）までに、「お名前・人数・ご連絡先」を、お知らせください。  
TEL・FAX 0478 (071) 77008  
Eメール mail@dream-hasegawa.com

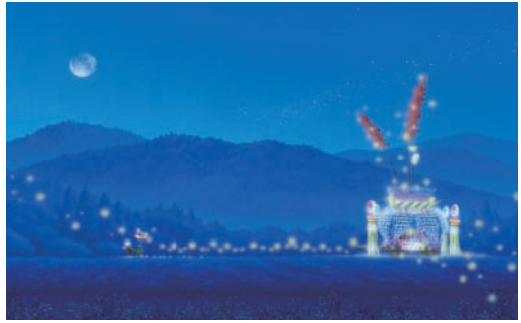
☆八月以降のイベント情報は、ホームページをご覧ください。ただ、お電話でのお問い合わせください。

「ドリーム工房☆はせがわ」公式サイト

<http://www.dream-hasegawa.com>

風船だよりではお伝えしきれない情報を、随時アップしています♪

# 「被災地の未来を輝かす心の原風景」 第五作目 創作から完成まで



第五作 岩手県陸前高田市「鎮魂のうごく七夕まつり」



町内会を解散せざるおえない集落もある中、「震災で亡くなった人の霊を弔いたい」「もう一度地域の絆を取り戻したい」と、開催を望む有志の方々が集結。「こんな時に祭りなんて」との声もありましたが、散り散りになった住民に参加を呼び掛け、辛うじて残った三台の山車と、太鼓や笛を修復し、開催に至ったのです。

夏になったら、必ず「うごく七夕まつり」を描こう。父は、すぐに心に決めました。そしていよいよ、今年の七月に発表予定する第五作に「うごく七夕まつり」の絵を創作する直前の六月二日から五日に紙芝居の活動で陸前高田市を訪れる事になりました。

昨年の夏にお伺いした時は、霧で視界が悪く、目の前の瓦礫ばかりに目が行きましたが、高田の町を包み込むようにそびえ立つ山々が何かを切々と訴えかけてくるような感じを受けました。

今回、保育園さんご縁をつないでくださった、きのこSATOの佐藤博文さんに「うごく七夕まつり」に携わっている人にお話をお聞き出来ないかご相談しました。佐藤さんが色々な方に連絡を取ってくださいと、ようやく一人お会いしていただける方が見つかりました。佐藤さんと一緒に、その方のご自宅にお伺いすると、何と、昨年の夏に「復興の湯」で出会った方でした！お仕事が終わってからも関わらず、たくさんの写真や映像、今までのお祭りの様子や歴史等、長時間にわたり、丁寧に丁寧に教えてくださいました。偶然とも、必然とも言えるようなご縁。本当に有り難く嬉しかったです。

改めて、陸前高田の空気を全身で感じ、皆様の想いを私達なりに一心に受け止めたその感動の熱が冷める事のないよう、十三日間の紙芝居の活動を終えてすぐに父は作品の創作に打ち込みました。

「被災地の未来を輝かす心の原風景」 第五作目は、岩手県陸前高田市の作品。  
タイトルは、「鎮魂のうごく七夕まつり」です。  
作品の題材となった「うごく七夕まつり」は、この地域の初盆にあたる八月七日に、亡くなった方々の魂を迎え、鎮魂の祈りを込めた、陸前高田市の夏の伝統行事です。お祭りでは、色とりどりの吹き流しなどで飾り付けた山車に、笛や太鼓のお囃子をのせ、「ヨイヤサーソイヤサー」という威勢のいい掛け声と共に、町中を練り歩きます。夜には、灯籠に灯りを点し、竹飾りを天高く掲げます。亡くなった方々が、ふるさとへ帰る目印となるように…  
私達が、このお祭りを知ったのは、活動で昨年の八月一日から三日に、陸前高田市を訪れた時の事。市内の大石公民館には当時、「復興の湯」という、地域の方々が作った共同浴場がありました。その隣で、地域の方々が山車に付ける為の七夕飾りを作っている所に遭遇し、お話を聴かせていただいたのがきっかけでした。  
津波によって、お祭りの伝承を支えてきた多くの方が犠牲となり、震災前は、十二台あった集落ごとの山車も、ほとんど流されてしまいました。



上／大石組の菅野さんと昨年八月に「復興の湯」で下／「きのこSATO」の佐藤さんと立派なきのこ



私も母も完成した作品を観た瞬間、気持ちを表す言葉が何も出て来ない、という初めての体験をしました。それほど作品全体が、静かで、深い祈りに包まれていたのです。暗闇の中、山車が進むその周りだけが明るく包まれ、人々だけではなく、山々の木々達も、痛みを分かち合い、失われた魂を悼み、まるで祈りを捧げているかのよう…人も動物も自然も、ふるさとで共に生きたかけがえのない家族。尊い命をホタルに重ね、陸前高田の七夕の原風景。

今年も「うごく七夕まつり」の前夜祭を八月六日(月)に、本祭を七日(火)に、無事開催出来るようになったそうです。先祖代々守ってきた伝統を絶やさずに、後世にも伝え続けていく為には、まだまだ乗り越えなければいけない壁がたくさんありますが、必ず、地域の復興と共に、地域の人々や周りで支えている人達の力で傳承されていく事でしょう。

この七夕祭り以外にも、各被災地の伝統文化やお祭りを復興・伝承させる為に、人々が立ち上がっています。被災地だけでなく、日本中の一人一人が、失われつつあるふるさとの原風景、日本人としての心を見つめ直す必要があるのかもしれない。今年の夏は、元来のお祭りの意味を深くかみしめながら、ご先祖様達への感謝の気持ちを未来につないでいきませんか？

第八作目は、紙芝居の活動で一番多くご縁をいただいている、宮城県気仙沼の海を望む原風景を描く予定です。尚、活動日程の関係で、作品の完成は九月下旬、発送は、十月上旬となる予定です。どうか次の作品も楽しみにお待ちいただけると幸いです☆

【全国各地での展示即売会に関するお知らせ】  
全国各地での展示即売会について、色々な方からお問い合わせをいただきますが、「ドリーム工房☆はせがわ」主催の展示即売会などの催しは、基本的に行っておりません。今後、開催するような場合はきちんと本サイト上でご案内致します。もしどちらかで催しが行われているのをご覧になった場合は、関連しているものではないかと承知しております。予めご了承ください。ただただ微力な体制で、全国の方に作品を観ていただけるような環境づくりが出来ず、本当に申し訳なく思っております。これからも皆様に喜んでいただけるような活動を目指し、三人で精一杯努めてまいります。何卒ご理解の程、宜しくお願致します。